

2017年7月13日(木) 19:00より

毎年恒例の七夕総会を上記日程にて開催いたします。

今回の基調セミナーは、「一般財団法人日本色彩研究所」より赤木重文氏をお招きし、「景観の地域特性を考える ―「赤瓦ウォッチングとワークショップ」を事例に―」と題して、地域特性や風土を重視した色彩と景観についてお話いただけます。

貴重なお話とともに楽しく盛り上がりましょう。皆様ふるってご参加ください。

広島パブリックカラー研究会会長 大橋啓一

基調セミナー

講師／赤木 重文 氏 (あかぎしげふみ／一般財団法人日本色彩研究所 常務理事 日本大学芸術学部非常勤講師(色彩学))

カラープランニング手法の開発、色彩教育カリキュラムの開発、色彩教材の開発、景観色彩設計業務、労働視環境改善業務、各種製品色彩設計業務などに従事。

日本デザイン学会、日本色彩学会、日本プラント・ヒューマンファクター学会、日本感性教育学会会員。



景観の地域特性を考える

―「赤瓦ウォッチングとワークショップ」を事例に―

国交省が景観法を施行しておよそ10年余りが経ちました。その法律を受けて、景観計画を制定する行政も増え、色彩についても多くの自治体で景観色彩ガイドラインを策定するに至っています。その結果、現在一定の成果が出てきたと感じています。景観色彩ガイドラインは、ネガティブチェックという意味では大きな業績を残し、指定地域では自己主張が強すぎて全体の良好な雰囲気壊す建造物はあまり見かけなくなりました。しかし一方で地域特性や魅力づくりについてのモチベーションが落ちてきているような気がしています。

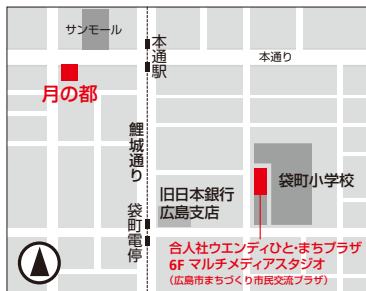
ずいぶん昔の話になりますが、日本色彩研究所で島根県の景観色彩ガイドラインを策定しました。そのあと引き続いて島根の地場産業である石州赤瓦と地域の景観特性に関するワークショップを開催しました。その資料を読み返してみると、地域の特性や魅力づくりを模索するこのような活動が、今だからこそ必要であるとの思いを強く持ちました。

私は現在、ある景観色彩アワードの審査委員長を仰せつかっておりますが、3・4年前はアースカラーを使って無難にまとめた応募物件が多くみられましたが、この1・2年は調和と魅力づくりの両立を図る作品の応募が出てきています。このあたりの傾向も踏まえながら赤瓦ワークショップを振り返ってみたいと思います。



セミナー 19:00~20:00(予定) ……セミナー終了後移動(徒歩約5分程度) ……> 歩

今回のセミナーは広島市袋町にある「合人社ウエンディひとまちプラザ (広島市まちづくり市民交流プラザ)」にて行います。



合人社ウエンディひとまちプラザ
6F マルチメディアスタジオ
(広島市まちづくり市民交流プラザ)
広島市中区袋町6番36号 (袋町電停 徒歩約3分)

会場のお問い合わせ先: **082-545-3911**

●セミナー参加費用	
PC研会員 / 学生 参加費用	非会員参加費用
¥0	¥1,500

※この機会に入会される方は別途年会費 ¥3,000- を納めていただければ左記の料金になります。

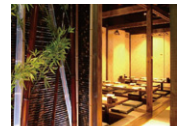
懇親会 20:30~

セミナーに引き続き懇親会を予定しています。場所は本通のサンモール向かいのビルにあります「月の都」です。皆様奮ってご参加ください。

会場: 紙屋町個室居酒屋 月の都

広島県広島市中区紙屋町2-3-20
SOCIO SQUARE KAMIYACHO 【3階】
会場のお問い合わせ先: **082-543-6988**

●懇親会費用
セミナー会場で徴収します
¥3,000



参加連絡はメールかFAXで

氏名・所属・連絡先・同伴者名・会員種別をお忘れなく

✉ jimukyoku@pc-ken.jp

FAX 082-511-7606

事務局・連絡先 色彩生活コーポレーション内 小澤・松崎 Tel 082-511-7607

⚠ 参加のメールを入れて、折り返しの確認メールが数日経っても事務局から届かない場合はお手数ですが事務局にお電話ください

7月13日(木)の七夕総会に

- 参加します (セミナー・懇親会とも)
- セミナーのみ参加します
- 都合により不参加です

氏名 (電話番号:)

所属 (会社名) (E-mail:)

同伴者名

※準備の都合上、7月11日(火)までにお知らせください。